

官民による若手研究者発掘支援事業
(社会実装目的型の医療機器創出支援プロジェクト)
令和6年度終了課題 事後評価結果

1. 研究開発課題名: 屈折異常と眼位の影響を受けずに局所網膜機能を評価する AI センシングを活用した網膜走査型多局所網膜電図装置の創出
2. 研究開発代表者氏名 (所属) : 広田 雅和 (帝京大学)

【評価 (公開)】

重度の視覚障害を有する患者の局所網膜機能の評価を可能とする局所網膜電図 (mfERG) の開発を行い、ほぼ所期の計画を達成したと評価する。既存の mfERG の改良とも取られるが、従来機はコンタクトレンズの装着を必要とするところに代えて、皮膚電極による電位計測を組み合わせ、患者への負荷を減らしているところが特徴であると考え。開発サポート機関の支援を特許出願や PMDA 相談に向けた準備や開発コンセプトの確認に活用し、研究開発成果の社会実装を推進したことを評価する。

以上